

会長方針

『受け身から元気・気合で行動へ』

会長（理事） 堤 清 彰
（高等学校）

はじめに

この度、歴史と伝統ある京都東ロータリークラブの会長職を拝命し、身に余る光栄と責務の重さにしっかりと気を引き締め、職務を全うして参りたい所存です。

本年度ジョン・ジャーム R. I. 会長は、「人類に奉仕するロータリー」を掲げられました。

2650地区の刀根荘兵衛ガバナーは、「夢を語り、^{いま}現在を刷新」を地区スローガンとされました。

いずれも人類の平和と福祉に貢献するロータリアンとしての行動規範と考えます。

本年度、会長テーマとして「受身から元気、気合で行動へ」を提唱しましたのは、常々自己改革を遂げたいと願っていたからです。

理由は、人前で話すことが苦手であり、積極的な行動ができない自分を変えたいと思っていました。

少林寺拳法の修行で自己確立を学び、大学時代は、應援團で不撓不屈の根性を鍛えられ、そして、京都東ロータリークラブとの出会いが自己実現を図る上で得た最大の道であったと感謝している所です。

この事から、人との出会いを大切に、そして年齢や異なった職業の方々とのコミュニケーションが図れるロータリーこそが、人間力を養う人づくりの道場であると確信しています。

座右の銘としています「我以外皆我師」の言葉どおり、会員の皆様方から多くを学び、大いに刺激を受け、「明るく、楽しく、ときめき」を持てる京都東ロータリークラブを運営して参りたいと存じます。

一年間、皆様のご理解とご指導を賜り、ロータリーの目的を共有して参りたいと願っています。

基本的な会長方針

1. 例会をたのしむ

- 1) 会員の卓話を月一回行う
- 2) 卓話のテーマを家族・知人・友人に広報
- 3) 委員会席を設け活性化を図る
- 4) 百万ドルミール時に会員ゲストを招く

2. 継続事業

- 1) ファイヤーサイドミーティングの開催
- 2) ワインコンサート開催
- 3) 吉田山（里山整備）植樹
- 4) ミャンマーへの車椅子寄贈

3. 寄付行為

- 1) ロータリー財団100周年に鑑み当クラブ目標\$ 180を目指す
- 2) 米山奨学金
- 3) 国際善意基金
- 4) 平澤基金

4. 最重要課題

- 1) 会員増強
- 2) ポリオ撲滅（ラオス）への寄付

5. 地区事業

- 1) IMに参加
- 2) 地区大会に参加